

6. 子育て支援施設

(1) 幼稚園・保育園・こども園

総合管理計画策定時（平成28年度）には、皆瀬保育園がありました。当施設は平成29年に民間社会福祉法人に譲渡しています。

その結果、市内の特定教育・保育施設（12施設）は、すべて民間施設で運営されています。

このうち3施設が保育所、9施設が認定こども園となっています。

(2) 放課後児童クラブ

ア これまでの取組み

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校就学児童に対し、授業の終了後や長期休暇等の際に適切な遊び及び生活の場を提供し、家庭・地域等との連携のもと健全な育成を行うための施設として放課後児童クラブを設置しています。

令和5年4月時点で、湯沢市には放課後児童クラブが14施設あり、このうち、社会福祉法人、学校法人等の民間施設を活用し実施している施設が湯沢地域に3箇所、皆瀬地域に1箇所あります。

稲川地域の4小学校の統合に合わせ、「放課後児童クラブ いなかわっこ宮田教室（※）」と「放課後児童クラブ いなかわっこ大館教室」を統合し、「稲川児童クラブ」を令和4年度より開所しています。統合前の施設については廃止し、除却時期を調整します。

また、構成児童一人当たりの基準面積を確保することが困難な状況となっていた「倉内団地児童クラブさくらっ子」について、令和2年度より文化交流センター内に移転し、「児童クラブさくらっ子」として基準面積を確保しています。

このほか、雄勝地域の4児童クラブについて統合することを決定し、雄勝小学校隣接地に施設を新設することとし、令和7年度に開所する予定です。

なお、類似の機能をもつ放課後こども教室「キッズステーション」を湯沢地域7箇所に設置しています。

※ 「いなかわっこ宮田教室」は令和元年度まで稲川克雪管理センター内で運営、令和2年度にあおぞらこども園敷地内に移転し、令和3年度に「あおぞらkid's」と名称変更。令和4年度に「稲川児童クラブ」に統合しています。

○廃止した施設（2施設）

施設No.	施設名称	所在地	地区
児6	放課後児童クラブ いなかわっこ宮田教室 (あおぞらkid's)	三梨町字宮田屋布前17	三梨
児7	放課後児童クラブ いなかわっこ大館教室	川連町字上平城2-6	川連

○現有施設（14施設）

施設No.	施設名称	所在地	地区	所管課
児1	湯沢南児童クラブ	千石町二丁目4-8	湯沢	子ども未来課
児2	祝田児童クラブ	字祝田154-1	弁天	
児3	岩崎児童クラブ	岩崎字寝連沢1-10	岩崎	
児4	児童クラブさくらっ子	字沖鶴69-5	湯沢	
児5	三関・須川児童クラブ	関口字堀量68	三関	
児8	ワンパクハウス（児童クラブ）	横堀字小田中5-2	横堀	
児9	小野児童館（児童クラブ）	小野字油屋敷15	小野	
児10	院内児童館（児童クラブ）	下院内字田用橋61	院内	

児11	秋ノ宮児童館（児童クラブ）	秋ノ宮字山岸146	秋ノ宮	子ども未来課
児12	若草学童クラブ	清水町二丁目3-3	湯沢	
児13	深堀ぐんぐんキッズ	深堀字高屋敷58-3	山田	
児14	ふたば学童クラブ	表町四丁目5-23	湯沢	
児15	皆瀬児童クラブ	皆瀬字下菅生32	皆瀬	
児16	稲川児童クラブ	川連町字大関下11-4	川連	

イ 現状と課題

放課後児童クラブは、昼間、保護者が家庭にいない小学1年生から6年生までの児童を対象とし、専任の放課後児童支援員による生活指導等により児童の健全育成を図っています。

14クラブの施設は、専用施設が3施設、他の公共施設との複合施設が7施設、民間施設の4施設を使用して開設しています。開設日・開設時間は、年末年始と日曜日、祝日を除き、平日は放課後から18時30分まで、土曜日と夏季等の休業期は7時30分から18時30分までで、管理運営は指定管理者の運営は4クラブ、民間委託の運営が5クラブ、市直営が5クラブで、全施設の管理運営費の総額は123,881千円となっています。収入として国・県から運営費補助金が82,552千円、利用児童からおやつ代として平日200円～300円/1日、土曜・長期休暇400円～500円/1日（月上限3,000円～8,000円）を徴収しています。なお、利用料金は徴収していません。

多くの児童クラブで定員を超えた利用登録がありますが、実際の利用は定員より少なく、令和5年4月現在、待機児童は発生していません。

施設No.	施設名称	建築年	法定耐用年数	経過年数	延床面積(m ²)	運営形態	職員数	支出(千円)	収入(千円)	登録人員/定員	構成児童数
児1	湯沢南児童クラブ	H29	34	5	171	指定管理	—	16,924 16,788	11,279 16,788	143/80	106
児2	祝田児童クラブ	H23	22	11	159		—	9,333 9,880	6,214 9,880	62/40	51
児3	岩崎児童クラブ	H2	47	32	178		—	8,375 11,284	5,584 11,284	64/40	49
児4	児童クラブさくらっ子	S61	50	36	—	委託	—	6,272	4,181	55/35	41
児5	三関・須川児童クラブ	S60	47	37	447	直営管理	会4	8,357	5,571	40/40	28
児8	ワンパクハウス（児童クラブ）	S55	47	42	210		会5	5,323	3,548	17/40	14
児9	小野児童館（児童クラブ）	S60	38	37	—		会6	7,839	5,226	51/40	43
児10	院内児童館（児童クラブ）	M39	24	116	—		会4	7,040	4,693	18/40	16
児11	秋ノ宮児童館（児童クラブ）	H3	24	31	—		会4	6,329	4,220	9/40	8
児12	若草学童クラブ	S49	22	48	民間施設	委託	—	7,416	4,944	48/35	40
児13	深堀ぐんぐんキッズ	H27	22	7				6,416	4,277	26/30	22
児14	ふたば学童クラブ	H30	22	4				9,564	6,376	48/40	38
児15	皆瀬児童クラブ	H26	34	8				6,694	4,463	33/40	26
児16	稲川児童クラブ	R3	22	1	300	指定管理	—	17,999 18,944	11,976 18,944	105/80	83

※支出・収入欄の2段書きのうち、上段は市、下段は指定管理者の収支額

※構成児童数…児童によって異なる利用頻度（毎日、週数回、長期休業時のみ等）を1日平均した数

児1 湯沢南児童クラブ

鉄骨造一部木造平屋建て、延べ床面積171㎡。平成6年に新耐震基準で建設し、平成29年度に増改築を行っています。

定員80人に対し143人の登録があり、構成児童数は106人となっています。管理運営は指定管理者が行い、指定管理者が支出する管理運営費は16,788千円で、指定管理料16,788千円（児童クラブ運営経費相当分を含む）の収入があります。市は指定管理料のほか電気・水道代131千円、建物火災保険料5千円、合わせて16,924千円を支出し、国・県からの運営費補助金11,279千円の収入があります。

児2 祝田児童クラブ

木造平屋建て、延床面積159㎡。平成23年に新耐震基準で建設し、建築から11年経過しています。

定員40人に対し62人の登録があり、構成児童数は51人となっています。管理運営は指定管理者が行い、指定管理者が支出する管理運営費は9,880千円で、指定管理料9,321千円（児童クラブ運営経費相当分を含む）と法人繰入金559千円をあわせて9,880千円の収入があります。市は指定管理料のほか建物火災保険料12千円をあわせ9,333千円を支出し、国・県からの運営費補助金6,214千円の収入があります。

児3 岩崎児童クラブ

旧岩崎小学校（平成2年建設）の一部約178㎡を使用し、平成25年から開設しています。

定員40人に対し64人の登録があり、構成児童数は49人となっています。管理運営は指定管理者が行い、指定管理者が支出する管理運営費は11,284千円で、指定管理料8,375千円（児童クラブ運営経費相当分を含む）と法人繰入金2,909千円をあわせて11,284千円の収入があります。市は指定管理料のみを支出し、国・県からの運営費補助金5,584千円の収入があります。

児4 児童クラブさくらっ子

文化交流センター（昭和61年建設）の一部117㎡を使用して、令和2年から開設しています。

定員35人に対し55人の登録があり、構成児童数は41人となっています。

管理運営は市直営（委託）で行い、業務委託費6,272千円を（施設管理費は文化交流センターに含む）支出し、国・県からの運営補助金4,181千円の収入があります。

児5 三関・須川児童クラブ

旧三関小学校（昭和60年建設）の一部447㎡を使用し、令和元年から開設しています。

定員40人に対し40人の登録があり、構成児童数は28人となっています。管理運営は市直営で行い、人件費を含む管理運営費は8,357千円で、国・県からの運営費補助金5,571千円の収入があります。

児8 ワンパクハウス（児童クラブ）

横堀交流センター（旧横堀小学校＝昭和55年建設）の一部210㎡を使用し、平成17年から開設しています。令和7年度から新施設に移転します。

定員40人に対し17人の登録があり、構成児童数は14人となっています。管理運営は市直営で行い、人件費を含む管理運営費は5,523千円（施設の管理費は横堀交流センターに含む）で、国・県からの運営補助金3,548千円の収入があります。

児9 小野児童館（児童クラブ）

小野地区センター（旧小野小学校＝昭和60年建設）の一部106㎡を使用し、平成28年から開設しています。令和7年度から新施設に移転します。

定員40人に対し51人の登録があり、構成児童数は43人となっています。管理運営は市直営で行い、人件費を含む管理運営費は7,839千円（施設の管理費は小野地区センターに含む）で、国・県からの運営補助金5,226千円の収入があります。

児10 院内児童館（児童クラブ）

院内地区センター（旧院内尋常高等小学校、旧院内へき地保育所＝明治39年建設）の一部159㎡を使用し、平成16年から開設しています。令和7年度から新施設に移転します。

定員40人に対し18人の登録があり、構成児童数は16人となっています。管理運営は市直営で行い、人件費を含む管理運営費は7,040千円（施設の管理費は院内地区センターに含む）で、国・県からの運営補助金4,693千円の収入があります。

児11 秋ノ宮児童館（児童クラブ）

秋ノ宮地区センター（旧秋ノ宮へき地保育所＝平成3年建設）の一部226㎡を使用し、平成16年から開設しています。令和7年度から新施設に移転します。

定員40人に対し9人の登録があり、構成児童数は8人となっています。管理運営は市直営で行い、人件費を含む管理運営費は6,329千円（施設の管理費は秋ノ宮地区センターに含む）で、国・県からの運営補助金4,220千円の収入があります。

児12 若草学童クラブ

学校法人が所有する認定こども園（昭和49年建設）の一部81㎡を使用し、平成21年から開設しています。

定員35人に対し48人の登録があり、構成児童数は40人となっています。管理運営は学校法人に業務委託し、委託料として7,416千円を支出し、国・県からの運営補助金4,944千円の収入があります。

児13 深堀ぐんぐんキッズ

社会福祉法人が所有する保育園（平成27年建設）の一部51㎡を使用し、平成27年から開設しています。

定員30人に対し26人の登録があり、構成児童数は22人となっています。管理運営は社会福祉法人に業務委託し、委託料として6,416千円を支出し、国・県からの運営補助金4,277千円の収入があります。

児14 ふたば学童クラブ

学校法人が所有する施設（平成30年建設）の一部148㎡を使用し、平成30年から開設しています。

定員40人に対し48人の登録があり、構成児童数は38人となっています。管理運営は学校法人に業務委託し、委託料として9,564千円を支出し、国・県からの運営補助金6,376千円の収入があります。

児15 皆瀬児童クラブ

社会福祉法人が所有する施設（平成26年建設）の一部50㎡を使用し、平成26年から開設しています。

定員40人に対し33人の登録があり、構成児童数は26人となっています。管理運営は社会福祉法人に業務委託し、委託料として6,694千円を支出し、国・県からの運営補助金4,463千円の収入があります。

児16 稲川児童クラブ

木造平屋建て、延床面積300㎡。令和3年に新耐震基準で建設し、建築から1年経過しています。

定員80人に対し105人の登録があり、構成児童数は83人となっています。管理運営は指定管理者が行い、指定管理者が支出する管理運営費は18,944千円で、指定管理料17,964千円（児童クラブ運営経費相当分を含む）と法人繰入金980千円をあわせて18,944千円の収入があります。市は指定管理料のほか建物火災保険料35千円、あわせて17,999千円を支出しており、国・県からの運営費補助金11,976千円の収入があります。

【現状と課題のまとめ】

少子化に伴い児童数は減少傾向の一方、共働き世帯の増加により放課後子ども対策は、子育て支援の一環として今後も高いニーズが予想されます。

現在の施設配置は、専用の施設や旧小学校の廃校舎を利用して設置していますが、今後、施設の増設や改築・大規模改修に備えて、校舎内又は学校敷地内等への配置（1小学校区・1児童クラブ）を進めるとともに、類似の機能をもつキッズステーションとの役割の明確化が必要です。

管理運営については指定管理者制度の導入や民間委託を進めている一方、市直営で実施している施設もあることから民間活力を活用した管理運営手法のあり方について検討が必要です。

利用料について、おやつ代は徴収していますが、児童クラブを利用する市民と利用しない市民との負担の公平性の観点から、受益者負担の適正化について検討が必要です。

ウ 今後の方針とスケジュール

総合管理計画の今後の方向性に基づき、「施設の安全性」、「施設の必要性」、「施設の有効性」、「管理運営の効率性」の視点から検証し、分析・評価を行いました。また、分析・評価を踏まえて、施設の対応方針を定めました。これらの内容は次のとおりです。

【基本的な考え方】

- 共働き世代が増加するなかで、放課後児童の健全育成と子育て支援の一環として事業を継続します。
施設の配置については、子どもたちの利便性や安全性を考慮し、学校校舎内への配置（1小学校区・1児童クラブ）を原則とし、校舎内への配置が困難な場合は、学校敷地内若しくは、他の公共施設を活用して適正規模の施設配置を進めます。
- 放課後児童支援員の安定確保の観点から、地域力・民間活力を活用した管理運営方法を進めます。また、既に指定管理者制度の導入や民間委託を進めている施設については、業務仕様書における要求水準の内容を精査し、指定管理者制度等の適正な運用を図ります。
- 利用料について、他自治体の状況を精査し、利用する市民と利用しない市民との負担の公平性の観点から、受益者負担の適正化を図ります。

【個別施設ごとの対応方針】

児1 湯沢南児童クラブ

- 平成6年に新耐震基準で建設し、平成29年に増築した建物であることから、保全計画に基づき計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。
- 登録児童数が定員を上回るものの、構成児童数は1人あたりの基準面積を満たしていることから、現状を維持し、夏休み等で利用者が増える時期には、隣接する南部文化交流センターを随時活用し狭隘化を防ぎます。
- 管理運営については指定管理者制度を継続し、南部文化交流センターとの一体的な管理運営を検討します。

児2 祝田児童クラブ

- 平成23年に新耐震基準で建設した建物であることから、必要な改修を行い継続使用します。
- 登録児童数が定員を上回るものの、構成児童数は1人あたりの基準面積を満たしていることから、当面現状を維持し、今後の利用状況の推移を検証し、受入人数の適正化及び施設のあり方について検討します。
- 管理運営については指定管理者制度を継続します。

児3 岩崎児童クラブ

- 平成2年に新耐震基準で建設した建物であることから、必要な修繕を行い継続使用します。
- 登録児童数が定員を上回るものの、構成児童数は1人あたりの基準面積を満たしていることから、当面現状を維持し、今後の利用状況の推移を検証し、受入人数の適正化及び施設のあり方について検討します。
- 管理運営については指定管理者制度を継続します。

児4 児童クラブさくらっ子

- 文化交流センターの一部を活用しているもので、施設の改修等については施設全体の改修計画の中で対応します。
- 当面の措置として、文化交流センターを活用することにより構成児童数における1人あたりの基準面積を確保していることから、当面現状を維持し、施設のあり方について検討します。
- 運営は業務委託を継続します。

児5 三関・須川児童クラブ

- 昭和60年に新耐震基準で建設した三関小学校の一部を活用して設置したものであることから、必要な修繕を行い継続使用します。
- 登録児童数は定員内であり、構成児童数も1人あたりの基準面積を満たしていることから、今後も運営を継続します。
- 管理運営について、地域力・民間活力を活用した管理運営手法を検討します。

児8 ワンパクハウス（児童クラブ）

児9 小野児童館（児童クラブ）

児10 院内児童館（児童クラブ）

児11 秋ノ宮児童館（児童クラブ）

- 令和6年度に雄勝小学校隣接地に施設を建設し、雄勝地域における児童クラブを集約しま

す。

- 集約後施設の管理運営について、地域力・民間活力を活用した管理運営手法を検討します。

児12 若草学童クラブ

児13 深堀ぐんぐんキッズ

児14 ふたば学童クラブ

児15 皆瀬児童クラブ

- いずれも学校法人や社会福祉法人が所有する施設を使用して、放課後子ども対策としての児童クラブを運営しています。

一部の児童クラブで登録児童数が定員を上回るものの、構成児童数は1人あたりの基準面積を満たしていることから、今後も業務委託による運営を継続します。

児16 稲川児童クラブ

- 令和3年に新耐震基準で建設した建物であることから、必要な改修を行い継続使用します。
- 登録児童数が定員を上回るものの、構成児童数は1人あたりの基準面積を満たしていることから、現状を維持します。
- 管理運営については指定管理者制度を継続します。

【年度別スケジュール】

項目	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 ~ 2030年度 (R10) ~ (R12)
児童クラブ 【共通事項】	直営施設の管理運営手法の検討 業務仕様書の要求水準の内容精査				
湯沢南児童クラブ	南部文化交流センターとの 一体管理の検討				
祝田児童クラブ 稲川児童クラブ			必要な改修を行い継続使用		
岩崎児童クラブ 三関・須川児童クラブ			必要な修繕を行い継続使用		
ワンバクハウス 小野児童館 院内児童館 秋ノ宮児童館	統合準備 管理運営手 法の検討	● 統合		新施設で開設・運営	
若草学童クラブ 深堀ぐんぐんキッズ ふたば学童クラブ 皆瀬児童クラブ			業務委託を継続		

エ 概算事業費と効果額

単位：千円

施設 No.	施設名称	今後の 方向性		更新費用の試算（40年間：令和2～41年度）						維持管理費	
				現状維持した場合			本計画を実施した場合			単年度の比較	
		建物	長寿 命化	大規模改修	建替	合計	長寿命化等 大規模改修	建替	合計	現状維持	計画実施
児1	湯沢南児童クラブ	継続	●	39,321	0	39,321	58,981	0	58,981	1,408	1,408
児2	祝田児童クラブ	検討		36,646	0	36,646	36,646	0	36,646	1,263	1,263
児3	岩崎児童クラブ	検討		—	—	—	—	—	—	—	—
児4	児童クラブさくらっ子	検討		—	—	—	—	—	—	—	—
児5	三関・須川児童クラブ	継続		102,819	199,827	302,646	0	0	0	2,570	2,570
児8	ワンパクハウス（児童クラブ）	継続		—	—	—	17,247	134,078	151,325	—	—
児9	小野児童館（児童クラブ）	継続		—	—	—				—	—
児10	院内児童館（児童クラブ）	継続		—	—	—				—	—
児11	秋ノ宮児童館（児童クラブ）	継続		—	—	—				—	—
児12	若草学童クラブ	—		—	—	—	—	—	—	—	—
児13	深堀ぐんぐんキッズ	—		—	—	—	—	—	—	—	—
児14	ふたば学童クラブ	—		—	—	—	—	—	—	—	—
児15	皆瀬児童クラブ	—		—	—	—	—	—	—	—	—
児16	稲川児童クラブ	継続		68,922	0	68,922	68,922	0	68,922	2,642	2,642
概算事業費（合計）				247,708	199,827	① 447,535	181,796	134,078	② 315,874	③ 7,883	④ 7,883

更新費用の試算比較 ②－①	単年度の維持管理費の比較 ④－③
△ 131,661 千円	0 千円

- ※ 民間施設を利用している場合は更新費用の比較は行っていません。
- ※ 他公共施設の一部に併設している場合の更新費用及び維持管理費は、併設施設に一括計上しています。